

住友不動産の分譲マンション「(仮称)品川ベイサイド大規模プロジェクト」における 停電時でも自立起動^{※1}して発電可能な「エネファーム」^{※2}の採用について

～日本初 マンションにおいて停電時でも自立起動して発電可能な「エネファーム」を採用～

東京ガス株式会社
住友不動産株式会社

東京ガス株式会社（社長：広瀬道明、以下「東京ガス」）が販売するマンション向け家庭用燃料電池「エネファーム」（以下「エネファーム」）と「停電時発電機能」オプション品が、住友不動産株式会社（社長：仁島浩順、以下「住友不動産」）が東京都品川区のベイエリア「天王洲」にて建設中の「(仮称)品川ベイサイド大規模プロジェクト」（地上14階建、総戸数254戸、以下「本プロジェクト」）において、採用されます。マンションに「エネファーム」と「停電時発電機能」オプション品が同時に採用されるのは、日本で初めてとなります。

「エネファーム」は省エネ・省CO₂といった地球環境への配慮に加え、防災の観点からも社会的ニーズの高まっている分散型エネルギーシステムです。「エネファーム」の「停電時発電機能」オプション品を導入することで、停電時に「エネファーム」が発電停止中でも、自立起動して発電し、停電時使用可能コンセント^{※3}を通じて電力を家庭内に供給することができます。

住友不動産は、これまでも防災や省エネをコンセプトとした商品企画に注力してまいりましたが、東日本大震災以降のお客さまの防災や省エネに対する意識の高まりを受け、「エネファーム」と「停電時発電機能」オプション品を南北両端に位置する住戸（51戸）^{※4}に採用することになりました。

さらに、本プロジェクトでは、停電時の電力供給システムとしてマンション内に非常用発電機^{※5}を設置し、エレベーター、共用部の給水ポンプ、照明などに電力を供給することで、災害時の安心・安全を一層高めています。

住友不動産は、住まいの安心・安全を目指した商品企画に引き続き取り組んでまいります。

東京ガスは、今後も首都圏のエネルギー事業者として、分散型エネルギーシステムの普及拡大を通じたエネルギーのさらなる安定供給に貢献してまいります。

※1：停電時に「エネファーム」が発電停止中でも「エネファーム」が自立起動すること。

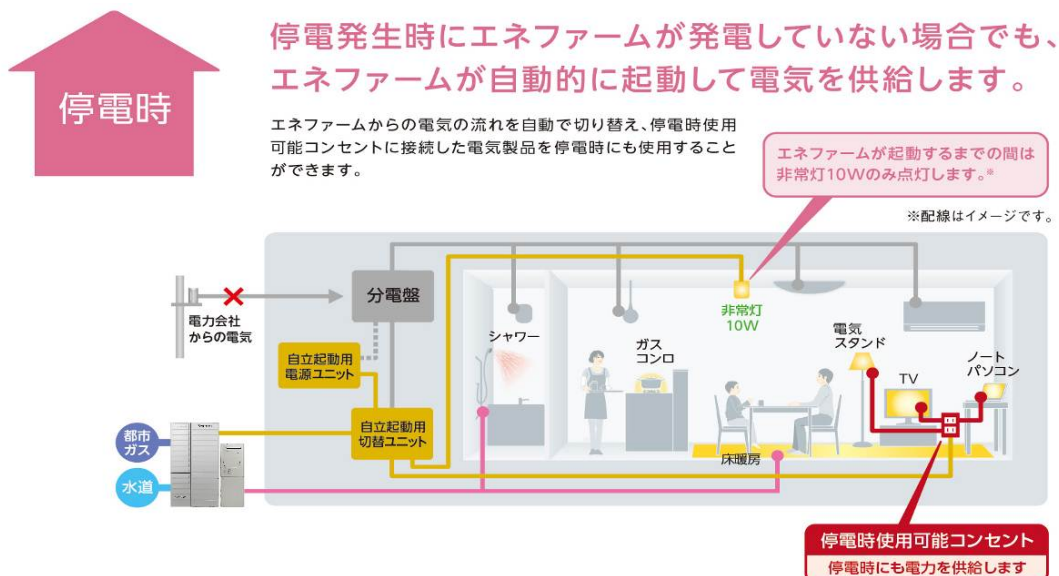
※2：マンション向け家庭用燃料電池「エネファーム」と「停電時発電機能」オプション品。

※3：通常時も電力を使用でき、停電時には「エネファーム」で発電した電力や蓄電池からの電力を使用可能なコンセント。

※4：51戸には停電時でも自立起動して発電可能な「エネファーム」が設置されます。それ以外の住戸に設置は出来ません。

※5：重油を燃料とする非常用の発電機。

<停電時の電力の流れ>



<参考1>

【本プロジェクトの物件概要】

- 所在地 : 東京都品川区東品川9-3 他 (地番)
- 交通 : JR 山手線「品川」駅からバス4分・「天王洲アイル」バス停徒歩5分
東京臨海高速鉄道りんかい線「天王洲アイル」駅から徒歩4分
東京モノレール「天王洲アイル」駅から徒歩3分
- 総戸数 : 254戸
- 構造・規模 : 鉄筋コンクリート造 地上14階建
- 間取り : 2LD・K+S (サービスルーム [納戸]) ~ 3LD・K
- 建物竣工 : 平成28年2月下旬予定
- 入居 : 平成28年3月下旬予定
- 売主 : 住友不動産株式会社
- 設計・施工 : 株式会社長谷工コーポレーション



<マンション完成予想図>

<参考2>

マンション向け家庭用燃料電池「エネファーム」について
<http://www.tokyo-gas.co.jp/Press/20131021-01.html>

エネファーム用「停電時発電機能」オプション品について
<http://www.tokyo-gas.co.jp/Press/20140807-01.html>

「(仮称) 品川ベイサイド大規模プロジェクト」について
<http://www.sumitomo-rd-mansion.jp/shuto/tennoz/>

以上

<報道機関からのお問合せ先>

東京ガス株式会社	広報部	報道グループ	田中	電話：03-5400-7675
住友不動産株式会社	広報課		田中	電話：03-3346-1042